

燃費向上、取り組み発表

ロジネット組 会員が意見交換
協



岩瀬実行委員長が成績上位者を表彰

に、成績上位の会員を表彰した。

同協組が定期開催している実務者会議は、会員企業の運行管理者などが現場での取り組みについて意見交換するもの。今回は、昨年9月からことし2月までの6か月間で実施した燃費向上運動がテーマとなった。

東日本大震災の犠牲者に対し全員で黙とうを捧げ、岩瀬誠実行委員長が燃費向上運動の成績上位者を表彰。同運動は各社が保有車両の平均燃費向上を競ったもので、6か月間で278万円の燃料コストを削減し

た会員企業もあった。

大型車部門は1位マルタカ（高木正社長、鈴鹿市）、2位力ワキタエクスプレス（川北社長、亀山市）、3位スカイキャニー（西川孝社長、亀山市）。中型車部門が1位シャトル（岩田勝義社長、四日市市）、2位マルタカ、3位中田商事（中田純一社長、伊賀市）の順となり、それぞれ岩瀬氏から表彰状と賞金を手渡された。

事例発表では、四日市運送（樋口博也社長、鈴鹿市）の平田剛課長が、燃費向上運動からグリーン経営認証

取得に至った経緯を説明。「協組の向上運動とグリーン経営認証の取得は同じこと。どうせやるなら認証も取ろうと考えた。燃費管理表を自ら書くことで、ドライバーの意識が大きく変わった」と述べた。

会議には、出席者が社内などで集めた義援金を持ち寄った。燃費向上運動の賞金を寄付する会社もあり、実務者会議からの義援金は8万円余りとなった。同協組本体からの義援金と合わせ、日貨協連を通じ被災地へ贈られる。

【三重】ロジネット協同組合（川北辰実理事長）は2日、鈴鹿市で実務者会議

を開催した。昨年実施した「燃費向上運動」での取り組み事例を発表するとともに